

株式会社フジ・リテイリング

企業概要

業種／ 総合小売業
 設立／ 令和3年11月15日
 所在地／ 本部：松山市宮西一丁目2番1号
 連絡先／ 本部：089-922-8115(総合企画部)

愛媛県との協定の概要

- 協定締結日 平成23年11月17日
- 連携・協力事項
 - 1.地域の安全・安心の確保に関する事
 - 2.地場産業・観光産業の振興に関する事
 - 3.地域の活性化に関する事
 - 4.環境保全活動・循環型社会に関する事
 - 5.県民サービスの向上に関する事
 - 6.その他の協働事業に関する事

協働事業

■愛媛産品の販売促進及び販路拡大

みかんオイルを使用した「宇和島産みきゃん真鯛」を販売



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、国内外への出荷量が落ち込むなど大きな影響を受けている養殖事業を応援するため、生産者様と協力し、店頭で販売の拡大を行っています。

県と民間企業が共同開発した“みかんオイル”を飼料に加えて育てた「愛の瀬みきゃん真鯛」は、上品な甘みが絶品です。

店頭では、刺身や鮓など様々な形で提供し、販売拡大につながりました。



フジオリジナル「愛の瀬みきゃん真鯛」

■イベントへの協力や関連商品の開発、観光産業の需要喚起

「この夏は南予へ！えひめ南予きずな博へ行こう！！」PRイベントの開催

復興に向けて頑張っている南予の姿を全国にPRする「えひめ南予きずな博」の実施にあわせ、南予の魅力をお伝えするイベントを実施しました。五十崎のミニ凧やうちわ作り体験など、南予のいやし体験を通じて、きずな博に興味をもてただけきっかけづくりになりました。



イベントの様子

■イベントへの協力や関連商品の開発、観光産業の需要喚起

「サイクリングしまなみ2022」での出展

高速道路や瀬戸内の美しい島々を舞台に行うサイクリング大会「サイクリングしまなみ2022」を盛り上げるため、企業ブースを出展しました。サイコロの出た目でお菓子をもらえるゲームなどを実施し、お子様を中心に楽しんでいただきました。



企業ブースの様子

■SDGs活動の推進

フードドライブ常設コーナーの拡大

食べられるのに捨てられてしまう日本の食品ロス量は、年間522万tになっています。

フジは、食品ロス削減の取組みとして、県や地域団体と連携したフードドライブ活動を実施しており、現在、県内のフジ25店舗で「フードドライブ常設コーナー」を設置しています。ご家庭で余った食品を店舗に持ち寄っていただき、集まった食品はフードバンク団体を通じて子ども食堂や福祉施設などに寄付させていただいています。



フードドライブ常設コーナー

■SDGs活動の推進

「愛媛の3Rフェア」の開催

環境への負荷が少ない資源循環型社会のモデルとなるようなリサイクル製品や廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組みを紹介する「愛媛の3Rフェア」を開催しました。

会場では、フジの店舗で回収している食品トレーや食品のリサイクルの仕組みなど、店舗で行っている環境にやさしい取組みについてパネルで紹介しました。フェアを通じて、環境に対する意識啓発や、環境に関する取組みについて考えていただくきっかけづくりにつながりました。



出展ブースの様子

■その他

マイナンバー発行カウンター設置

DXの更なる推進に向け、マイナンバーカードの取得及び利用促進を図るため、県内フジ各店舗でマイナンバーカード発行カウンターの設置を行いました。手ぶらで来館いただいても発行の手続きが可能で、お客様の端末を用いてマイナポイント申請をお手伝いし、取得促進のきっかけづくりになりました。



設置カウンターの様子

企業担当者の声

当社は、「豊かなくらしづくりを提案し、地域社会の発展に貢献する」という理念のもと、「この街に、あってよかった。」と地域の皆様感じていただける企業・店舗づくりに取り組んでいます。

お客様の声の一つひとつ丁寧にお応えし、毎日のくらしがより便利で快適になるとともに、楽しさやワクワクを感じていただけるような商品・サービスの提供や、地産地消の推進、地域コミュニティの場となる店舗づくりを進め、県や地域団体との情報共有・連携を図りながら、今後も積極的に協働事業を行ってまいります。

